

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2024年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会申し合わせ事項により行う。
(国内ルール適用)
2. トラック競技の組合せレーン順, 及びフィールド競技の試技順は, 主催者において公平に抽選し, プログラムおよび招集所で発表する。
3. フィールド競技の競技順序はプログラムの試技順序に従う。
4. 競技者の招集について

競技者招集所は100mスタート付近とする。

招集開始時刻, 招集完了時刻はプログラム記載の競技開始時刻を基準として以下の通りとする。

| 競技種目 | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|---------|--------|--------|
| トラック競技 | 30分前 | 20分前 |
| フィールド競技 | 40分前 | 30分前 |

※ 代理人による招集は認めない。

※ リレー競走に出場するチームは招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙を提出し, チーム4人が揃って招集時間内に招集を受けること。オーダー用紙はプログラムに掲載してある。オーダー用紙を提出した後のオーダー変更は, 招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められないので, その際には総務へ申し出ること。

※ 招集完了時刻に遅れた場合及びリレーオーダー用紙の提出が遅れた場合は棄権となる。

5. アスリートビブス(ナンバーカード)は胸, 背部の両面につけること。(但し, 跳躍種目の競技者はどちらか一方のみでよい。) 5000m以上の個人種目では, オーダーナンバー(レーンナンバー)を記したアスリートビブスを, 各自で準備すること。なお, 無地のアスリートビブスを本部で販売している。
6. 競技用具は競技場備付のものを使用すること。
7. 小学男女100mを除き, 400mまでの競走では, スタートブロックを使用しなければならない。
8. スタートはすべて英語で行う。
9. **不正スタートにおいて, 不正スタートの責任を有する競技者は1回で失格とする。また, 競技者がTR16.5.1, 16.5.2, 16.5.3を行った時, 審判長は当該競技者に対してイエローカードを示し, 警告を与えることができる。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが, それ以後の種目の出場を妨げない。**小学生男女100mのみ, 同一人が2回不正スタートをした場合は失格とする。なお, その場合も競技には参加させ, 記録は参考記録とする。
10. 小学男女800m及び中学男女800mは, 弧形のライン後方からグループスタートで行う(レーンを使用しないでスタートを行う)。
11. 靴底の最大の厚さはTR5.2のとおり, 以下の表に記載されたものでなければならない。

| 種目 | 靴底の最大の厚さ | 要件・備考 |
|---------------------|----------|---|
| フィールド種目 (除: 三段跳) | 20mm | 全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で, 靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは, 踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。 |
| 三段跳 | 25mm | 靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは, 踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。 |

| | | |
|---------------------------------------|------|---|
| トラック種目 (ハードル種目を含み, 800m 未満 の種目) | 20mm | リレーにおいては, 各走者が走る距離に 応じて適用する。 |
| トラック種目 (障害物競走を含み, 800m 以上) | 25mm | リレーにおいては, 各走者が走る距離に 応じて適用する。競技場内で行う競歩競 技の靴底の最大の厚さは, 道路競技と同 じとする。 |

12. リレー種目では同一のユニフォームを原則とする。ランニングパンツ, スパッツ等は形が不揃いでもよいが, 同一色にすること。
13. 本大会は記録会であるため, フィールド種目ではトップ8による6回の試技は行わない。
14. 走高跳バーの高さ及びバーの上げ方

| | 練習 | |
|------|------|---|
| 中学男子 | 1m35 | 1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 … 以後 3cm |
| 中学女子 | 1m20 | 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 … 以後 3cm |
| 一般男子 | 1m55 | 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 1m85 1m90 … 以後 3cm |
| 一般女子 | 1m25 | 1m30 1m35 1m40 1m45 … 以後 3cm |

なお, 練習の高さ及び最初の高さについては, 天候の条件や出場選手の状況により, フィールド審判長の判断によって高さを変更する場合もある。

15. 抗議については TR8 に従う。
16. 助力については TR6 に従う。フィールド種目に出場している競技者は録画映像を提供する者のすぐ近くの位置であれば録画再生機器や録画映像を競技区域内に持ち込むことが認められる。画像をより詳しく見るために, 競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録画再生機器を手にしてもよい。
17. 携帯電話, ビデオカメラ, 音楽プレーヤー等は, 競技場内に持ち込むことはできない。なお, フィールド競技の現場で発見された場合, 現地で預かり, 総務を通じて返却することになる。
18. ゴミは競技場に残さないで, 各自で必ず家に持ち帰ること。
19. 盗難には十分注意し, 貴重品や自転車などの管理を各団体, 各自でしっかり行うこと。
20. 記録証は小学生の出場者全員に発行し, 団体ごとに封筒に入れて配付します。中学生以上の出場者で記録証 (1部 100円) を希望する場合には本部で表彰係に申し込むこと。
21. その他不明な点, 忘れ物, 落し物等は総務まで照会ください。

<競技結果 速報携帯サイトのお知らせ>

<https://gold.jaic.org/tokyo/top.htm>

QRコード ⇒

